



PLUS ULTRA

# 富キャン Express

Vol. 17



～ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ～ 白鷗大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

## 新校長着任挨拶

校長 岡部 宣男



させていただきますので、私の思いも兼ねて抜粋しながら紹介します。

本校の校歌の作詞は西條八十(せいじようやそ)、作曲は神津善行(かみづぜんぎ)で、二人とも昭和を代表する有名な詩人、音楽家です。皆様のご両親やそれ以上の年齢の方であればよくご存知だと思えます。まず、

「渡良瀬川の水清く、姿をつつす若人が」と始まりです。

渡良瀬川は、本校の南側を流れています。足尾を水源にした川です。かつては足尾銅山の鉱毒で汚染されましたが、今はきれいな川になり、この歌詞のように、美しい水の流れをたえています。

「究むる真理よ 磨く叡智よ 明るく正しく伸びてゆく」とあり、これは、学(まなぶ)とは物

事の本質や真相を探し出し、自分の才能や知識、知恵をさらに高めることだと教えています。つまり、真の学習習慣を確立して欲しいということ。高校卒業後、進学するにしても就職するにしても、希望する進路を実現することは、なかなか容易ではありません。本年度、富田キャンパスでは従来からの特選コース・進学コースに加え、新たに中高一貫教育コースの生徒を迎えました。これらのコースの授業

は、中学校までに比べて格段と難しくなっています。しかも、3年後に

進路を選択する際には、全国レベルでの戦いが待っています。より生徒が学習活動に専念できるよう職員一同環境整備に努めていきますので、今後とも本校の活動にご理解ご協力をお願いいたします。

## 春の選抜出場!



3月21日に開幕した第86回選抜高校野球大会、白鷗ナインが「聖地」甲子園の舞台上に立ったのは、大会3日目の第二試合でした。

初出場となった春のセンバツ。23日に行われた二回戦の相手は、宮城県代表東陵高校でした。関東大会を制してのセンバツ出場のため、在校生、卒業生、保護者、地元の方々の期待は大きいものでした。本校では、全生徒全職員が一丸となって大応援団を編成し、甲子園球場へ赴きました。

アルプススタンドから広いグラウンドでプレーをする選手達を見て、とても誇らしい気持ちになりました。試合序盤、ヒットを打たれ、冷や冷やする場面もありましたが、堂々と打球する比嘉投手や先制タイムリーを打った大下選手、白鷗打線が火をふきました。中島選手が捕手のタッチをかいくべり、本塁に滑り込んだときには、球場中が二気に沸きました。

このセンバツのために、吹奏楽応援にはたくさんの方が有志で参

加してくれました。チャリダー応援にもバントトウリング部とともにダンス同好会の生徒が参加してくれました。この大応援団の期待を裏切らず、対東陵戦は15安打、9対1で大勝しました。

続く二回戦は大会7日目、28日の第二試合。相手は昨秋の明治神宮大会王者、沖縄県代表・沖縄尚学高校でした。一回戦よりも応援団は縮小されましたが、声援の大きさは変わりません。回表、先制すると、大歓声がありました。五回まで1対1の接戦が続く、アルプススタンドはただただ汗を握り、祈ります。しかし、六回、とうとう勝ち越しを許してしまいました。健闘むなしく、8対1で負けてしまいました。応援席からナインに送られた拍手は一番大きなものとなりました。

今大会に出場できたことを荣誉に思います。また、保護者、地域の方々の応援に感謝しております。今年の夏、この「聖地」に戻ってこられるよう、野球部のこれからの活躍に期待します。



堂々と行進をする野球部

# 富田キャンパスへようこそ!

### 新入生の抱負

楽しい高校生活を  
送っています!



特別選抜コース  
1年1組  
寺田 竜次  
(結城東中)

高校生活を迎えるにあたって、私の抱負は二つあります。

一つ目は「学ぶこと」です。勉強はもちろんです、SSH体験学習やポランティアなど、授業では学ぶことのできない貴重な機会が多々あります。その機会を無駄にせず二つでも多くの事を学び、成長の糧としていきたいです。

二つ目は「人間としての成長」です。義務教育が終わり、何事も自己管理となりました。そのため、自分の行動一つに責任を持たなければなりません。しっかりと自分の意志を持って物事に取り組み、「大人」になるための基盤を固めたいと考えています。



中高一貫コース  
1年1組  
野村 侑里  
(白鷗足利中)

私が考える高校生活の抱負は、「時間を大切に」というものです。中学生の時には、学校、自宅とも



進学コース  
1年1組  
木村 百花  
(太田西中)

私は本校の新入生として、自覚を持って行動したいと思っています。学習面では早朝学習や8時学習を有効に活用し、自学自習の習



授業風景

に、それなりに時間の余裕がありました。また、高校に入学してからは、難解な授業やたくさんの課題に追われる毎日です。新生活に胸躍る一方で、やはり、多忙な毎日不安や疲労を感じる場面がしばしばあります。こうした生活に大切なことは時間の上手な使い方だと思つています。今後は、なるべく自分の力で何でも出来るようになり、時間の管理をしっかりしたいと思っています。

光陰矢の如し。時間の儂さを実感し、3年間の努力でその儂い人生に華を咲かせたいと思います。

慣を身に付けられるようにしたいです。そして、勉強に対する意識を高くと持ち、3年後の受験に備えられるようにします。また、勉強だけでなくいろいろな行事やポランティア活動にも積極的に参加したいと思っています。球技大会や体育祭等楽しい行事がたくさんあります。二つ三つの行事を大切にしたい。思い出したいと思っています。何事にも一生懸命に取り組み、勉強も行事もがんばろうと思います。



進学コース  
1年2組  
石井 侑依  
(坂西中)

私は高校生活がスタートするにあたって「全てを全力で取り組む」という抱負を持つことにしました。その理由は私の短所にあります。私は、すぐに気が抜けてしまい勉強や部活動にも手を抜いてしまつてしまつてしまつています。自分には、なぜ達成感を得ることができないのか、もどかしい気持ちになりました。全てを全力で行つことは、今の自分だけでなく未来の自分にも自信を持たせてくれると気づきました。だから、高校生活では全てのことに対し全力で行つことに決めました。くじけそうになったら、自分が将来、どんな人間に成長したいかを考えたいです。努力を続けければ、明るい未来が待っていることを信じ、高校生活を最高のものにしていきます。



進学コース  
1年3組  
千金 楽海帆  
(大泉北中)

中学生のころから憧れていた、白鷗大学足利高等学校に入学できました。ずっと着たかった制服に袖を通してこの学校の生徒となりました。夢をつ叶えた私の次の目標は、大学進学です。現役で合格するためには二年時からの学習が不可欠だと思います。中でも私が一番意識しているのは、学習習慣の確立です。私は中学生の時、家ではあまり勉強していませんでした。それでも授業についていくことができていくことができた。しかし、高校となると予習・復習が必須です。学習習慣を確立する必要があります。8時学習などを活用し、徐々に身に付



昼休みの様子



進学コース  
1年4組  
江森 航平  
(明和中)

私は、白鷗大学足利高等学校に文武両道を目指して入学しました。中学校時では、野球部で素晴らしい友人や先輩に出会い生の絆を築くことができました。高校でも新たな絆をクラスや部活動で築いて

けていこうと思つています。そして希望する大学に現役合格できるように少しでも多く努力して、次の夢も叶えたいです。



進学コース  
1年5組  
東 世樹  
(小山第三中)

「もつと自分に負けない強い人間になる」これが私の抱負であり、これからの目標です。私は、頭の中で計画をしていても、それを行動に移せない、ということが多々あります。特に、勉強面では誘惑に負けて予定通りに学習が進まないというところも多く、ただ自分に甘い部分があるのだと日々痛感しています。

自分自身に勝つことができれば、他人にも勝つことはできません。なので、私は自分に負けない強い心を持ち、これからの3年間を有意義に過ごしたいと思っています。そして、将来の夢を叶えるために二倍の努力をしたいと思っています。

いきたいと思います。入部前の体験を通して、文武両道を成し遂げている先輩に憧れ男子ソフトボール部に入部を決めました。部活動を始めて1ヶ月経ちますが、中学校に比べて両立は難しく時間の使い方に苦戦しています。しかし、級友と切磋琢磨しながら自習室で学習したり、部活動で関東大会出場を目指し練習したりする日々はとても充実しています。これからも文武両道を実現するために頑張りたいです。

### 新入生歓迎 球技大会

5月27日、富田校舎で新入生歓迎球技大会が行われました。豊かな自然の下、友との絆をより深めることができ、充実した1日になりました。



真剣勝負で盛り上がった大会の様子

ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニスの4種目に分かれて競技が行われ、どの競技も白熱した試合が繰り広げられました。普段見られないような生徒たちの生き生きとした表情がとて印象的でした。各競技の結果は次の通りです。

#### 平成26年度 新入生歓迎球技大会(富田校舎)結果

	優勝	準優勝	第3位
ソフトボール	P2-5	P3-4A	P3-5
バレーボール	P3-5	TS2-2	P2-5
バスケットボール	男子 P3-5	P3-1-2	P3-3 TS3-1
	女子 P2-3	P2-4	P2-1
ソフトテニス	P2-2	P3-5	P3-3

### トリニティハイステイト・ ハイスクール来校

4月16日から3日間、オーストラリアのケアンズ市よりトリニティハイステイト・ハイスクールの教職員3名と生徒19名が来校しました。

トリニティ高校の生徒は、本校生徒の家庭にホームステイしながら富田校舎へ登校し、授業に参加しました。17日にはホストファミリーの本校生徒とともに、日光研修に出かけました。当日は天気もよく、日光に向う道中ではたっくさんの桜を見ることができました。日光東

照宮の参道では弥生祭が行われていました。思いがけず、色鮮やかで華麗なお囃子を目の当たりにしたトリニティ高校の生徒たちはとても感激した様子でした。

最終日には、両校の生徒が別れを惜しんで涙を流す光景が見られました。短い期間でしたが、両校の生徒にとって素晴らしい思い出になったようです。



日光にて

### 新任職員紹介



作本 健彦先生 (理科)

今年4月から理科を担当している作本健彦(さくもと やすひこ)です。進学二年三組の担任と科学部の顧問も務めています。

静岡大学大学院を修了し、県内の医大で4年間、県内外の博物館で3年間働いた後、教員になることを志し、慶應義塾大学で1年間、そのための勉強をしました。教員を志した理由は、それまでの仕事の中で生徒と関



安納 由希子先生 (養護)

今年4月から新しく養護教諭となりました。安納由希子(あんなの ゆきこ)です。

今現在、大きなケガもなく、皆さんが安全に過ごさせていることを、とても嬉しく思っています。そしてその一方で、勉強や部活動等で忙しい日々の中、なんとなく「ムカムカ」や「からだの不調を

わる楽しさを知り、生徒としっかり向き合うためには教員になることが一番だと考えたからです。医大での研究の仕事や学芸員の仕事も面白いですが、今は教員としての仕事に熱意をもって取り組んでいます。

私は理科担当として、自然現象に対して「なぜだろう」と疑問を持ち、それを考える楽しさを伝えていきたいと思っています。これまでの経験を生かし、分かりやすく楽しい授業が出来るよう頑張ります。そして一人の教員として、なるべく多くの生徒達の目標が叶うよう手助けしていきたいと思っています。今後も宜しくお願いします。

感じている人が多いのではないかと、日々心配しています。私としては、皆さんが心身ともに健康であることが一番ですので、少し淋しくはなりますが、保健室にはめったに生徒がやって来ないという状況が理想的だと考えています。そのため一人一人が将来に向けて、自分自身で体調を管理していきけるように、健康に関する情報提供やアドバイスをしなが、積極的にサポートをしていきたいと思っています。

ただ、せっかく縁があつて、こうして皆さんと出会うことができたので、保健室以外における日常生活や様々な行事の際には、元気な皆さんと深く関わっていただけることを楽しみにしています。どうぞ、宜しくお願いします。

### 生徒会役員紹介

5月7日に、平成26年度後期生徒会役員認証式が行われ、新たに議長、副議長、書記の3人が認証されました。  
平成26年度後期生徒会は次の通りです。

副会長	特選	三二	神村 恵美
会計	進	三一	亀田 百華
会計監査	進	三一	佐藤 彩加
会計監査	進	三一	橋本 晏奈
会計監査	特選	三一	篠崎 成美
会計監査	進	二一	伊沢 拓真
会計監査	進	二二	大木 瑠依
会計監査	進	二二	久保麻友子
会計監査	進	二二	窪田 佳奈
会計監査	進	二二	増田 麗奈
会計監査	進	二二	小川 将慶
会計監査	進	二三	渡部 真樹
会計監査	進	二四	佐藤 司
会計監査	進	二四	七原 美優
会計監査	進	二五	稲葉 遥
議長	進	三一	中野 奈央
副議長	進	三一	安達 秀弥
書記	進	三一	藤生 奈巴



平成26年度後期生徒会の  
生徒会役員

平成26年度

# 富田校舎 主な大学合格実績

国立大学等 60名合格

私立大学

479名合格

京都大学	1名	白鷗大学	218名
北海道大学	1名	早稲田大学	3名
東京学芸大学	1名	上智大学	4名
千葉大学	2名	東京理科大学	8名
電気通信大学	1名	明治大学	6名
埼玉大学	1名	青山学院大学	4名
群馬大学	13名	立教大学	4名
宇都宮大学	5名	中央大学	5名
茨城大学	4名	法政大学	3名
信州大学	1名	学習院大学	3名
秋田大学	1名	津田塾大学	3名
高知大学	1名	東京女子大学	1名
鹿児島大学	1名	日本女子大学	3名
国際教養大学	1名	同志社大学	2名
高崎経済大学	1名	立命館大学	9名
前橋工科大学	3名	成蹊大学	1名
群馬県立県民健康科学大学	2名	獨協大学	3名
長野県立看護大学	1名	國學院大學	1名
防衛大学校	2名	武蔵大学	1名
その他17名合格		明治学院大学	2名
		芝浦工業大学	4名
		獨協医科大学医学部医学科	1名
		北里大学	2名
		東京農業大学	10名
		東京薬科大学	1名

## 卒業生からの声

志望大学に見事合格した3人の卒業生が、高校生活の思い出について寄稿してくれました。



特進コース  
3年1組卒業  
柳田 優貴さん  
(毛野中)

東京学芸大学教育学部  
国際教育理解課程合格

高校3年間で思い出は、一生大切にしたい皆さんの仲間と出会えて、共に過ごせたことです。メリハリがきちんとあって、何にでも一生懸命で、アットホームなクラスの皆、時には競い合えるライバル、熱心に指導してくださった先生方、大切な人たちと過ごした時間はあつという間に過ぎてしまいました。1年生の頃は夢もなく、何となく勉強していました。2年生になって英語が好きになり、「国連で働きたい」という夢を持つようになりました。そして夢の実現に近づける大学への進学を果たすことができました。一度しかない高校生活、富田キャンパスで充実した日々を過ごすことができ、とても幸せでした。



進学コース  
3年2組卒業  
家泉 千理奈さん  
(太田東中)

明治大学文学部史学地理学科合格

私の高校生活は、友人や先生方のおかげでも素晴らしいものになりました。今振り返ると、3年

間は本当にあつという間でした。私は1年生の頃から毎日自習室を利用し、8時まで学習に励みました。自習室で他のクラスの友人や、先輩、後輩とも交流を広げることができました。受験勉強は苦しいときもありましたが、そつした人達の支えで乗り越えることができました。先生方にもとてもお世話になりました。夜遅くまで質問に対応してくださったり、悩みを聞いてくれたり、私の進路実現を全力で応援してくださいました。



英語科  
3年1組卒業  
置地 春香さん  
(館林三中)

獨協大学外国語学部ドイツ語学科合格  
高校3年間で印象に残っていることは、オーストラリア語学研修とCan祭です。語学研修では初めてホームステイを経験しました。最初は英語で自分の意志を伝えることができなせんでしたが、共に生活するうちに分かり合えるようになり、とても嬉しかったのを覚えています。3年生のCan祭では茶道部、ダンス同好会、クラスの催物と、大忙しでした。終わった時は「3年間頑張ってきたよかった」という達成感でいっぱいでした。

大好きな英語を勉強したり、部活動に打ち込んだり、友人達と楽しい時間を過ごしたり、たくさんのことにチャレンジできて、私にとって最高の高校生活でした。

## EU出張講義

「EUがあなたの学校にやってくる」

5月13日にEU出張講義「EUがあなたの学校にやってくる」が実施されました。駐日欧州連合代表部よりエリック・ハーメリンク氏をお招きして、欧州連合のあゆみや欧州連合の存在意義、そして、現在の日本と欧州連合の協力関係などの講演と質疑応答を行うことができました。ヨーロッパとはほど遠いアジアに住む生徒にとって、欧州連合から外交官をお招きして、ヨーロッパの現状を知ることが、とても貴重な体験となりました。



エリック・ハーメリンク氏  
による講義



EUのパフレット

富キャンExpress vol.17 題字の右側の力マの「口」は富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress編集  
発行 白鷗大学足利高等学校富田校舎  
足利市多田本町1067  
電話 0284-912633  
制作 足利印刷株式会社  
発行 平成26年8月30日